

ISDB-T OFDM変調器

NEW

3566A

- 地デジの番組/データ放送の事前検証や送出ストリームのモニター用として最適
- 最大3系統のMPEG2 TSの入力が可能
- 入力したTSに多重されているPSI/SIの解析し、設定したPSI/SIに挿げ替え可能

概要

本装置は、日本地上デジタル放送のISDB-T方式に対応したOFDM変調器です。

再多重化部、変調部、RFコンバータ部を内蔵し、1Uサイズで収めました。ご要望に応じてEIA規格(高さ44mm)、JIS規格(高さ49mm)の筐体で提供が可能です。

TS入力は3系統装備していますので、再多重化部に最大3系統のMPEG2 TS入力はもちろん、PID毎に階層振り分けやPSI/SIを多重することも可能です。また、MPEG2 TSに多重しているPSI/SIを解析し、設定したPSI/SIに挿げ替えることも可能です。再多重化後のTS(放送TS)入力もできますので、監視モニター装置としてご利用できます。

出力チャンネルはVHF/UHF(J1ch~J62ch)、MID/SHB(C13ch~C63ch)、RF出力レベルは0dBm(RFモニタ出力は-20dBm)です。

特長

1. 日本地上デジタル放送(ARIB STD-B31に準拠)のISDB-T変調波を出力します。
2. 再多重化部、変調部、RFコンバータ部を内蔵し、1Uサイズ(EIA/JIS規格対応)で収め、スタンドアロン操作が可能です。
3. TS入力は最大3系統可能です。
4. 再多重化機能を装備しておりますので、MPEG2 TSを使用することが出来ます。
5. PID毎の階層振り分けや、PSI/SIを多重することが出来ます。
6. 入力したTSに多重しているPSI/SIを解析し、設定したPSI/SIに挿げ替えることが可能です。
7. 再多重化後のTSを出力することが出来ますので、送出するTSを監視することが可能です。
8. 伝送パラメータは任意に設定することが可能です。
9. 外部10MHz入りに同期することが可能です。
10. PRBSを発生することが可能ですので、TS入力がなくてもテスト信号を出力することが出来ます。
11. 出力チャンネルはVHF/UHF(J1ch~J62ch)、MID/SHB(C13~C63ch)です。
12. RF出力レベルは0dBm(RFモニタ出力は-20dBm)です。
13. 電源はAC入力ですので、外部にACアダプター(AC→DC変換器)を必要としません。
14. Ethernetによる制御が可能です。また、本体前面より設定を変更することも可能です。



サイズ: 482.6(W) × 44(H) × 400(D) mm[EIA規格対応]

482.6(W) × 49(H) × 400(D) mm[JIS規格対応]

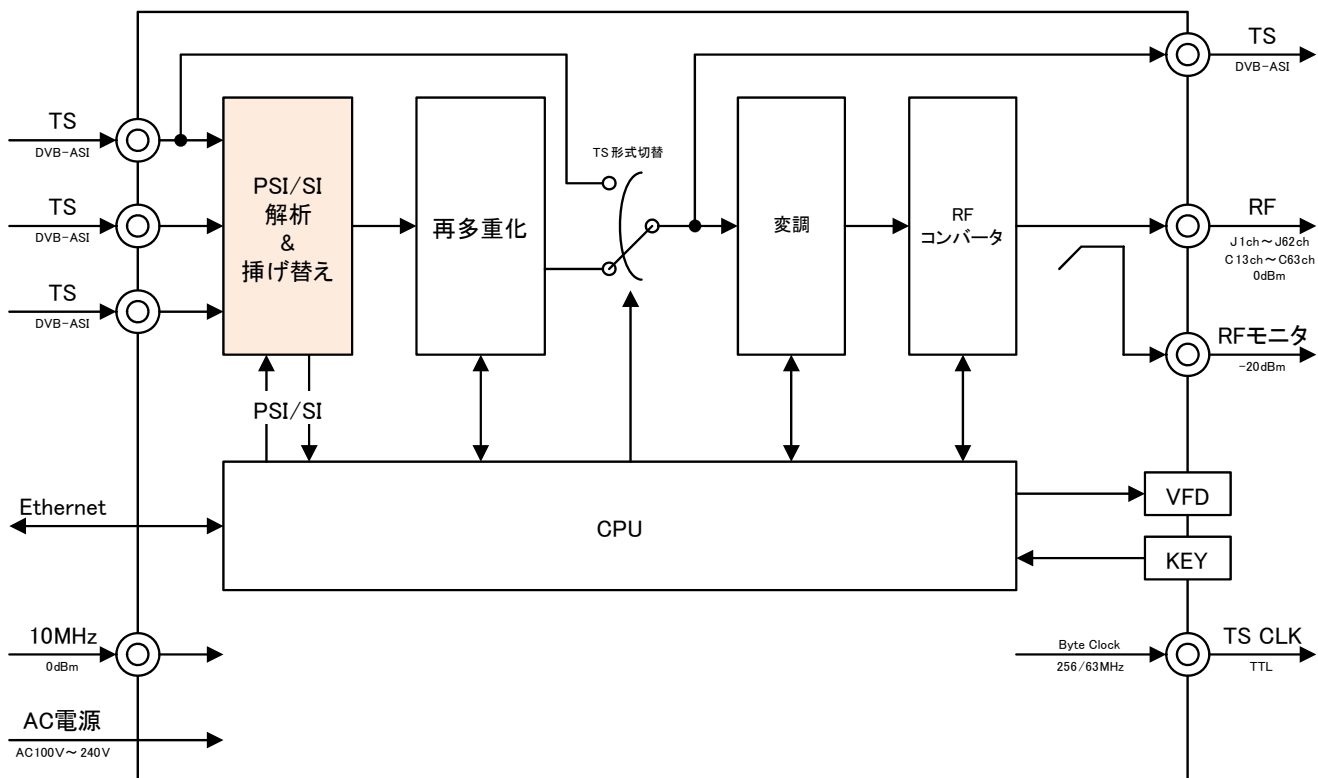
質量 : 5kg以下

電源 : AC90VからAC250V [50Hz/60Hz] (入力電圧許容範囲)



PSI/SI変更ソフト イメージ図

ブロック図



※ PSI/SIの解析、挿げ替えの設定は外部PCと接続する必要があります。

PSI/SI解析 & 挿げ替え

